

グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習

Information processing exercises that incorporate questionnaires created by the groups and group presentations

梶木 克則, 梶井 猛

Yoshinori KAJIKI, Takeshi MASUI

甲子園大学 総合教育研究機構

Institute of General Education, Koshien University

Email: kajiki@koshien.ac.jp

あらまし：情報リテラシー教育としてワード・エクセル・パワーポイントを教えているが、関連付けて教えられないかと考え、アンケート作りを取り入れた。昨年度前期は個人で二択1問のアンケートを作り、集計処理、発表までを行った。同じクラスの後期の演習では、5つのグループに分け、グループで話し合いアンケートを作り、発表までを行うよう演習内容を発展させた。話し合いには SNS を使い、個人の発言が記録されるようにした。

キーワード：協調学習、ICT活用教育、アンケート、プレゼンテーション

1. はじめに

高校での教科「情報」が始まり10年以上になるが、いまだに高校で情報処理の演習を受けてこなかったとか、1年程度であったため覚えていないというケースも多く、相変わらずスキルの格差は狭まっていないように思われる。パソコンスキルの能力差が大きいため、これまで通り初心者向けのテキストを使わざるを得ないが、扱う題材については少しでも興味を持って取り組んでもらえるものにと考えた。そこで2013年度からアンケート作りを取り入れ、回答結果を集計分析し、レポートにまとめ、発表するまでを一貫して行う演習内容に変更した。

アンケート作りには、以前から利用しているグーグルのクラウドサービスのフォーム⁽²⁾⁽³⁾(アンケート作りから集計まで)の機能を利用した。前期の演習では、各自で二択の1問だけのアンケートを作り、実施した結果を集計分析し、レポートにまとめ、発表するまでを試みた。自分で考えたアンケートであり、得られた生のデータを使うことから、身近な題材としてとらえ、興味を持って取り組んでもらえると考えた。また、1つの題材を元に、ワード、エクセル、パワーポイントを活用するため、実際の使い方が取得できると思われた。

同じクラスの後期の演習では、クラスを5つのグループに分け、グループでの話し合いによる自由なアンケート作りを発展させ、グループで発表するところまでを行う演習内容とした。話し合いには SNS を使い、個人の発言が記録されるようにした。

2013年度前期に実施したアンケート作りを取り入れた演習の試みについては、昨年度の全国大会で発表⁽¹⁾しており、本稿では後期に実施したグループによるアンケート作りと発表について述べる。

2. アンケート作りを取り入れた演習の試み

パソコンスキルの幅がかなり広い新入生に対して、

基本操作から教えることとなり、当然初心者向けの基本的な操作手順を含む市販のテキストを指定することになる。こうしたテキストは、標準的な機能を修得できるよう考えられており、全員が同じ課題に取り組むため、これだけでは面白味に欠けると思われる。そこで、個別の要素を取り入れ、個々に考えて完成させる部分を増やした演習内容として、アンケート作りを取り入れた。少しでも興味を持って取り組んでくれるのではないかと考えた。

これまでもゼミや統計関連などの少人数の授業で、グーグルのフォームを利用したアンケート作りを取り入れた演習を実施してきた。自分の興味のあることをアンケートにして、結果を予測し、実際の結果と比較分析しながら、集計やグラフ化を工夫することでエクセルのスキルアップにつながり、レポート作りや発表準備にワードやパワーポイントを利用する。Webを活用した演習課題であり、生のデータを収集処理できるところが良いと思われる。

2.1 アンケート作りとその条件

自由なテーマでアンケート作りを行うと、少人数であればなんとか対応できるが、大勢になると多様な質問に対応するのに時間がかかり過ぎる恐れがあり、これまで控えていた。しかし、一昨年の全国大会の特別公演で、条件付きの1問だけのアンケート作りというヒントを得て、2013年度前期に実施した演習では、「二択の設問で、回答がほぼ半々に分かれそうな設問を考えること」という条件で、ごく簡単なアンケートを個別に作ることにした。

二択の設問の前に、性別を尋ねることと、選択肢を選んだ理由を文章で答えてもらうように指導した。アンケートの回答画面を表示させるショートカットを集め、共有フォルダに置くことで、アンケートに答えてもらうことができる。

2.2 レポート作りと発表準備

アンケートの設問作りから集計分析までをレポートにまとめ上げ、発表準備のためのスライド作りまでを行うことが狙いである。

まず、アンケート実施に先立って、考えた設問の回答が半々に分かれるであろう根拠などを、レポートの素案として入れておいてもらった。その他、予想される結果、アンケート文面、アンケート結果、集計方法、グラフ、分析と考察、参考文献などの項目をレポートに盛り込むように指導した。

2.3 前期最終回の発表会

8 人に発表してもらった。聴く側の人は、「テーマについてや、発表のよかった点、こうしたら良くなるとか質問など」について、これもグーグルのフォームを利用して、投稿してもらっている。性別との相関も考慮した発表もあり、非常に簡単なアンケートながら発表までの一連のパソコンスキルの修得が行えたと思われる。

3. グループによるアンケート作りと発表

2013 年度前期の情報処理演習では、個人による二択 1 問だけのアンケート作りを取り入れた、個人的な演習内容になった。後期はグループによる話し合いで、みんなの関心があるテーマを選び、質問内容と選択肢もいろいろな人の意見を盛り込み、本格的なアンケート作りを行えるように発展させた。話し合いには SNS を利用し、記録が残せるようにした。また、発表に向けたスライド作りには、マイクロソフトの SkyDrive の Web アプリの PowerPoint プレゼンテーションの機能を使い、共同編集ができるようメンバーを登録して利用した。

3.1 話し合いによるアンケートのテーマ選び

グループ分けはこちらから指定し、1 グループ 6 人から 8 人までになるように調整し、5 つのグループに分けた。演習室では自由席のため、グループごとに集まるようにはせず、話し合いは全て SNS を通じて意見を発言するようにした。

アンケートのテーマについて、まず個人思考として各自 2 つ以上メモ帳に入力するように指示した。SNS 上に 5 つのコミュニティをあらかじめ作っておき、管理者の承認により参加できるようにし、班ごとに話し合いができる場を整えた。各班で 2 つのテーマに絞ってもらい、班の代表者が参加する別のコミュニティで、各班のテーマを提示してもらい、同じテーマについては調整を行い、最終的に 5 つのテーマが決まった。

3.2 グループによるアンケート作り

テーマ決定後、テーマに沿った設問と選択肢を SNS 上で出し合い、順序も検討された。それを元に、アンケートの文面作りは各自で行い、そのリンクをグループの SNS 内で見られるようにし、代表とするアンケートを選び、各班ごとに最終のアンケートの URL を提出してもらった。図 1 にある班のアンケート

の例を示す。

図 1 班代表のアンケート文面の一例

3.3 アンケートの実施と集計・レポート作り

5 つの班のアンケートが出そろったところで、クラス全員で 5 つのアンケートに回答し、結果をエクセル形式でダウンロードして、各班のメンバーに配布し、集計処理とレポート作りは各自で行った。

3.4 グループによるスライド作りと発表

各自で作成したレポートを元に、グループのメンバー全員の力を合わせて、発表のためのスライド作りを行えるように考えた。SNS で話し合いながら、共同でスライドの編集ができるように、Web アプリの PowerPoint を利用した。あらかじめこちらで 5 つの班の空のスライドを用意し、各班のメンバーを編集可能な共有者として登録し、メールでリンクを送信しておいた。各班ごとにスライドの共同編集が行え、発表の際も簡単にスライドショーを始めることができる。同じスライドを同時に編集してしまうと、つぶし合いになってしまうので、担当するスライドの番号を決めてから行うように指導した。スライド作りにおいて、SNS はスライドの見出しと分担を話し合うのに利用された。

4. まとめ

前期の演習においては、簡単なアンケート作りから集計処理、レポート作り、プレゼン準備までの一連のリテラシー教育をかなりはしりながら行った。後期前半にエクセルの基本操作について数回にわたり時間かけて説明し、前期の説明不足を補った。

グループによるアンケート作りやスライド作りは、話し合って作るという新しい要素が加わり、これまでの個人的な演習とは違って、満足度や達成感が大きくなるという感想も得られた。SNS による話し合いについては賛否両論である。

参考文献

- (1) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “身近な題材と振り返りメモを取り入れた情報処理演習の試み”, 教育システム情報学会第 38 回全国大会, F6-1 (2013)
- (2) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “演習室でのプレゼン発表会におけるチャットに代わるコメント投稿方法”, 教育システム情報学会第 37 回全国大会, D1-1 (2012)
- (3) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “グーグルドキュメントのフォーム機能を利用したアンケート作成演習の試み”, 平成 21 年度情報教育研究集会, A3-4 (2009)